

# 雨による災害の被害を最小化する

プラスチック製  
雨水貯留浸透施設

## 『テンレイン・スクラム』

### 天昇電気工業

天昇電気工業（東京都町田市南町田五―三―六五・天幸ビル、☎〇四二―七八八―一五五五）は、八月十七日〜二十日までインテックス大阪で開催された「下水道展」に、プラスチック製雨水貯留浸透施設「テンレイン・スクラム」などを出展し、好評を博した。



貯留槽の施工状況

都市化や市街地の開発が進む昨今、集中豪雨が発生すると雨水は河川や下水排水へと一気に流れ込み、甚大な浸水被害が発生してしまふ。特に大型台風やゲリラ豪雨などに集中豪雨が頻発する現在においては浸水被害を最小化する対策が望まれている。



テンレイン・スクラム

こうした中、合成樹脂成型品の開拓者として長年にわたって合成樹脂の加工成型に携わり、幅広い分野のプラスチック製品を提供してきた同社では、プラスチック製雨水貯留浸透施設「テンレイン・スクラム」を開発。大量の雨水を地下に誘導し、一時的に貯留することで浸水被害を抑制できる施設を構築できることから注目を集めている。

雨による災害防災は河川工事だけでなく都市流域全体で考えるという視点から開発された同製品を利用して都市の開発と同時に雨水浸透施設を構築することで、街のどこかでゲリラ豪雨が発生しても雨水の一時的対策が可能し、河川や下水施設の負荷軽減に貢献する。雨水の貯留は災害の防止だけではなく、公共バスや自動車の洗浄、街路樹などへの散水、打ち水など平時の雨水活用にも役立ち、環境保全にも役立つ。

本体ブロックは軽量ながら高強度な再生ポリプロピレン製で、このブロックを互違いに組み立て

て雨水貯留槽を構築。構  
築された貯留槽の標準寸  
法は、670mm（高さ）  
×740mm（縦）×740  
0mm（横）となっている。  
ブロックとブロック同  
の間に160mmの隙間を  
四方に設けつつ、1㎡当  
りの樹脂量を減らしなが  
ら高い空隙率を確保する  
「テンレイン・スクラム  
工法」（特許取得済み）  
で組立てを実施。標準空  
隙率1195%、最大空隙率  
1196・59%という高い空  
隙率を実現する。  
組立てられた貯留槽は  
強固な天地板ブロックで  
上下から挟むことで全体  
強度も上がりダンパーと  
ラックなどの大型車両が  
走行しても微動だにしな  
い堅牢性を発揮する。  
施工性は極めて良好。  
本体重量が5・3kgと軽  
量のため非常に扱いやす  
いことに加え、特殊工具  
や施工の専門知識が必要  
ないことから一般作業員  
が施工することができ  
る。  
同製品を利用して集合  
住宅の地下駐車場や商業  
施設の地下駐車場、運動  
場・テニスコートの地下、学  
校の校庭・グラウンドの  
地下などあらゆる場所に  
雨水貯留浸透施設するこ  
とにより、豪雨による災  
害対策に貢献する。  
[https://www.tensho-](https://www.tensho-plastic.co.jp/)

